

中一国語科通信 第一回

まだ何も書かれていない予定表

なんでも書ける これから書ける

俵^{たわら}万^ま智^ち

みなさん、こんにちわ。今週の火曜日に初めてプリント課題を出してみました。もう課題の中身を見てくれましたか。この間の登校日には、何人かの人と提出物や今後の課題について確認しましたが、ほんの少しの時間でもお話しできてとてもうれしかったです。今まで名前しか分からなかった状態から、やっと顔を近くで見ることができた、話すことができたというのは、とてもありがたいものでした。きつと、それはみなさんも同じかもしれません。「梅丘中学校の先生ってどんな人なの?」、「いろんな人が教科書を配ってくれたり、話しかけてくれたりするけど、誰だか分からないや。」などという感想をもった人もいるかもしれません。そんな不安を解消する助けになればと思います。今回の登校日に学年だよりを配布することにしました。そこには、今回の配布物や次回の持ち物と服装について書いてあるのはもちろんのこと、一番はみなさんにどんな先生が梅丘中学校で待っているのかを知っ

てほしくて、教科担当の紹介と学年の先生から直筆^{じきひつ}のメッセージを書くことにしました。ほんの少しだけでも不安が解消されたら、うれしく思います。

ちなみに、みなさんに課題配布を終えた後の職員室では、こんな会話がされていました。

「社会以外の課題を持ってきてくれた子が何人かいたけど、たくさんやっている子がいてびっくり!」

「今日全部は持ってきてないって言っていた子もいたから、みんながやった課題を積み上げたら大変なことになるかも・・・相当時間をかけてやってるね。」

「社会の課題もよくやってたなあ。」

「お家の方の協力もありがたい。」

梅中ホームページを見て、課題をやってくれたみなさん、ありがとうございました。その努力は、とても素晴らしいものでした。また、今回出さなかったけど、実はやったものがあるから見てほしいと思っている人は、次回見せてくださいね。

さて、ここまでは一学年の話でしたが、ここからは国語の話になります。

この「国語科通信」は、国語の学習をする時のちょっとした補足^{ほぞく}(つけ足し)や言葉に関することでおも

しろいなど思うことを載せていきたいと思っています。次の登校日に課題を提出してもらいますが、その時に「みんなのプリント掲載OK」に○をしてくれた作品も、この通信で紹介する予定です（ただし、配布プリントは名前入りにしますが、個人情報関係でホームページ用は名前なしになります）。できるだけ多くの作品を取り上げたいと思っていますので、ちよつとやってみようと思っている人は、ぜひ挑戦してくださいね。

まだ何も書かれていない予定表

なんでも書ける これから書ける

俵万智

今回紹介するのは、俵万智さんの短歌です。短歌は、小学校の時に学習したと思いますが、五・七・五・七・七でつくられる短い詩です。この短い言葉の中に、その人の伝えたい内容をギュツと凝縮するところに、短歌のおもしろさがあります。

その短歌の中でも、この作品をみなさんに紹介したいのは、ここに表現されている内容が今のみなさんにぴったりだと思ったからです。いつもとちがう中学生の始まりにはなってしまったけれど、みなさんにはこれからたくさん可能性があります。梅中生としてス

タートしたばかりのみなさん。まだ今は限定された中の生活ですが、これから少しずつできることも増えていくはずですよ。その時に向けて、今のうちに、「梅中に行ったら、これをやりたい!」、「あれもやってみたいな。」など、今のうちにやりたいこと、やってみたいことをイメージしておくといいでしょう。ちなみに、私のこれからやりたいことは、「一日でも早くみなさんの顔と名前を一致させること」です。みなさんがこれからに向けてどんなことを思い描いているのかを会話できる日が早くくるといいですね。

【読書のとびら】

今回の課題の中に、おまけとして「読書カード」のページをつくりました。みなさんは、ふだんどんな本を読んでいるのでしょうか。記録を読むのを楽しみにしています。

私が最近読んだのは、辻村深月さんの『かがみの孤城』（ポプラ社）です。学校での人間関係から自分の部屋に閉じこもってしまった主人公。自分の部屋にある不思議なかがみの向こうの世界で、自分と似たような境遇の登場人物達と出会います。そんな彼女が葛藤しながらも彼らとちゃんと向き合おうとする姿に引き込まれます。最後の最後に、「こういうことか」と思われる”人のつながり”には脱帽しました。

